

先生各位

## 検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

《変更日》 平成 30 年 10 月 1 日（月）受付分より

《変更内容》

- 検査項目名称と報告書名称の表記を合わせるため（頸管 ← 頸管）

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.38	0137	子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	報告書 名称	子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ	子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ
			会計名称	子宮頸管粘液中	子宮頸管粘液中
	0186	頸管腔分泌液中癌胎児性 フィブロネクチン	報告書 名称	頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチン	頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチン
			会計名称	頸管腔分泌液 癌胎児性	頸管腔分泌液 癌胎児性

- 報告書名称の変更

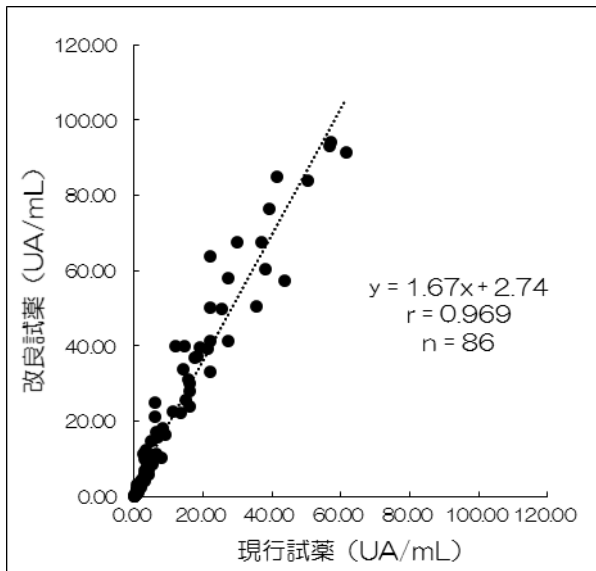
総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.102	3105	便ヘモグロビン	報告書 名称	1 行目： 便ヘモグロビン 2 行目： ラテックス法 1 日目	1 行目： 便ヘモグロビン 2 行目： ラテックス法
	0470			1 行目： 便ヘモグロビン定量 2 行目： ラテックス法 1 日目	1 行目： 便ヘモグロビン定量 2 行目： ラテックス法

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.103	3108	便ヘモグロビン&トランスフェリン	報告書名称	1行目：便Hb&Tf 2行目：1日目	1行目：便ヘモグロビン& トランスフェリン 2行目：トランスフェリン

● 測定試薬の変更

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.42	2721	特異的IgE CAP シングルアレルゲン ヒノキ	測定試薬	ヒノキ花粉に対する感度が向上した改良試薬	
	9877 (0184)	View アレルギー-39 ヒノキ			

《相 関 図》



《判定一致率》

	6						1	
	5				10	4		
	4			13	8			
改良試薬	3		14	16				
	2		3	12				
	1	1	2					
	0	16						
	判定	0	1	2	3	4	5	6
								現行試薬

陰性一致率	16/17	94%
陽性一致率	78/78	100%
判定一致率	96/100	96%

● 検査体制見直しにおける変更

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.91	4020	PIVKA-II (腫瘍)	検査方法	CLIA 法	CLEIA 法
P.93	1264	NCC-ST-439	検体量	血清 0.6mL	血清 0.5mL
			所要日数	4 ~ 6 日	2 ~ 5 日
			報告範囲	2.5 以下 ~ 5000 U/mL 以上	1.0 未満 ~ ∞ U/mL

● 項目名称の変更：日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) 尿沈渣検査法 2010 表記に準拠

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.102	3256、 3263 (3277)	尿沈渣 尿路上皮細胞	項目名称	尿路上皮細胞	移行上皮細胞

● 薬剤感受性パネル変更に伴う報告可能薬剤の拡大 注) 10月1日(月) 報告分より

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.105	3369	一般細菌薬剤感受性検査	1 菌種	報告可能 薬剤  モルガネラ、プロピ デンシア、プロテウ ス(ミラビリスを除 く)においてイミペ ネムが報告可能	
	3370		2 菌種		
	3371		3 菌種 以上		